

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-2-034
補助事業名 平成25年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

視覚障害者に対する理解を求めるためには生活文字である点字の普及が欠かせません。本事業は点訳者養成講座を開講することにより、点字を学ぶ機会を設け、専門書を点訳できる人を増やすことを目的としています。養成講座の開講式は、職業的に自立した視覚障害者を招いての講演会も兼ねており、視覚障害者が幸せに暮らすとはどういうことなのか、その為には点字がどれほど欠かせない重要なものなのかということをテーマにお話を頂いています。また、養成講座の閉講式を兼ねて平成16年度より継続して開催している「競い合い、助け合う コンサート——羽ばたけ視覚障害音楽家たち」は、視覚障害音楽家の演奏の場を創出し、今後の更なる活躍の場を広げるチャンスにしています。このように様々な角度と方法でアピールし、視覚障害そのものへの理解と、視覚障害者への支援の輪を広げていくのが本事業です。

(2) 実施内容

・開講式を兼ねた講演会

専門点訳者実践養成講座の開講にあたり、視覚障害者による講演会を開催し、養成講座受講生をお招きしました。今回は生田流邦楽演奏家で全盲の澤村祐司氏に、視覚障害者として職業的に自立し、現在のキャリアを築くまでの半生と、その過程での点字および点字楽譜の重要性をお話いただきました。また、公演中に見澤太基の尺八と共に、ご自身の箏の演奏もご披露いただきました。



箏の演奏を披露する澤村氏と、尺八の見澤太基氏(右)



視覚障害者の職業的自立と点字の重要性について講演する澤村氏(奥)

・専門点訳者実践養成講座

視覚障害者向けの点字図書の製作に欠かせない点訳者を養成する講座です。日本語初級、日本語上級、英語、音楽、理数、邦楽、応用(触図)の7講座で、入門者から既に活躍している点訳者まで幅広いニーズにお答えしています。特に、視覚障害者の学習環境の整備や職業的自立に必要な専門書やテキストを点訳できる専門的な点訳者の養成を目指しています。

(別紙5)



応用(触図)では、触覚で図を理解する点図について講義



日本語初級の受講風景。まずは点字を書く点筆の持ち方から

・競い合い、助け合うコンサート2013——羽ばたけ視覚障害音楽家たち

養成講座の閉講式を兼ねた演奏家で、主に若い視覚障害者にご出演いただいています。本年は生田流邦楽演奏家で全盲の澤村祐司氏(箏)と見澤太基氏(尺八)、加藤侑子氏(箏)、小畔京子氏(箏)、阪元沙有理氏(箏・十七弦)の合奏に、全盲の楊雪元氏(中国笛・歌)と楊則子氏、コール・トゥインクルスター(女声コーラス)と全盲の三好明子氏(ピアノ伴奏)をお迎えし、熱演をご披露いただきました。



澤村氏(左)ほか4名による、箏・尺八・十七弦の合奏



楊雪元(右)と則子による、軽妙なトークと中国笛・歌・ピアノの演奏



コール・トゥインクルスターとピアノ伴奏の三好氏(奥)



当日、会場の玄関に掲げたRING! RING!プロジェクトのロゴ入り看板。

2 予想される事業実施効果

講演会では、邦楽演奏家として活躍する澤村祐司にお話いただくことで、視覚障害者が職業的に

(別紙5)

自立し、幸せに生きていくことが、どのようにして可能なのか、どのような支援等が必要なのかを、同氏の実体験に基づいて、参加者にお伝えすることができました。音楽は視覚障害者に比較的適性のある職業と考えられていますが、点字楽譜の必要性・重要性について、点訳者らに理解していただけたのも大きく、今後の点訳活動に生かされるものと思われまます。

専門点訳者実践養成講座は、各レベル・内容ごとに、点訳者として活躍するのに必要な技能・知識を習得していただきました。入門者には、点字がどういうものなのか、その仕組みと歴史、そして基礎的な技能を身につけていただくと共に、視覚障害および視覚障害者に対する理解も促す内容の講義となりました。専門的な科目等においては、既に点訳者として活躍されている方々に、より一層充実した点字図書を、正確・迅速に製作していただけるよう、ハイレベルな内容の講義となっています。音楽・邦楽は、澤村氏の例もあるように、視覚障害音楽家にとって必須とも言える点字楽譜の製作の不可欠ですし、英語・理数といった科目は、視覚障害者が高等教育を受け、職業的に自立する為に必要な学習環境の整備、あるいは業務の遂行等で必要となる専門書・テキスト等の点訳に欠かせない技能・知識を伝えます。また、今回は応用(触図)として、触覚によって図形等を理解する点図についての講座も開講しました。一般書籍だけでなく、特に教科書においてもヴィジュアル化が進む中、原本に記載された図やグラフを、点字と同じような紙の凹凸で表現する技術へのニーズは高まっていくものと思われまます。にもかかわらず、点図を製作する点訳者の数は充分とは言えないのが現状です。受講者それぞれが点訳の技能を磨いたこの講座により、今後ますます豊かな点字図書が、正確・迅速に発行され、視覚障害者の学習環境整備、職業的自立へとつながってゆきます。

競い合い、支え合う コンサート2013——「羽ばたけ視覚障害音楽家たち」では、視覚障害者の職業的自立というものがどういうものなのか、実際にご理解いただく場を提供しました。視覚障害者野活躍を実際に見聞きしていただくことで、健常者に理解を促すだけでなく、視覚障害当事者、特に若い視覚障害当事者が、将来への夢と希望を抱けるようにします。と同時に、まだまだ充分とは言えない視覚障害音楽家の活躍の機会を創出し、更に今後の活躍の場を広げるきっかけともなっています。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

演奏会チラシ	2,000部
演奏会チラシ(点字版)	200部
演奏会プログラム	600部
演奏会プログラム(点字版)	200部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

(シカクショウガイシャシエンソウゴウセンター)

住所： 〒167-0043 東京都杉並区上荻2丁目37番10号 Keiビル

代表者： 理事長 高橋 実(タカハシ ミノル)

担当者名： 星野 敏康(ホシノ トシヤス)

電話番号： 03-5310-5051 / FAX: 03-5310-5053

E-mail: mail@siencenter.or.jp

URL: <http://www.siencenter.or.jp/>